

2020年度 ながの海ごみゼロプロジェクト (CFB・海と日本2021) 成果報告

ながの海ごみゼロプロジェクト実行委員会

2021年度 成果

「上流県ながのから海をキレイに」をテーマに今年度からCFB事業を長野エリアで展開。海なし県ではあるが、海洋ごみ問題は、内陸県とも密接に関わっているため、様々な団体と連携し、啓発、イベント活動を行った。オリジナル企画は長野県美容業界と連携した「ナガノコレクション」をオンラインを活用した配信イベントとして開催し、1万人以上が視聴。美容業界に海洋ごみ削減を行動化させるきっかけを作った。教育企画は、プロジェクトオリジナルの教育パンフレットと動画を制作し、教育現場で活用したほか、長野県のWEBサイトにも掲載した。清掃活動は、太平洋へと注ぐ天竜川の源流・諏訪湖を中心とした2市1町を中心に展開。このほか、県内の2つのJリーグチームとの連携により、多くの参加者を集め、海洋ごみ削減を啓発した。



オンライン活用モデル

美容ファッションイベント「ナガノコレクション」とのコラボオンラインイベントを開催。インフルエンサーを活用し、若い層へのリーチを図った。また、県内美容室60店舗と連携したごみ拾いを実施。



教育連携モデル

NPOと連携し、長野県の小中学生向けにオリジナルの教育動画とパンフレットを制作し、出前授業を行った他、長野県のウェブサイトでも公開した。



自治体連携モデル

海へとつながる天竜川の源流、諏訪湖の周辺2市1町と連携した清掃活動を実施。1000人を超える参加者を集めた。



商品化連携モデル

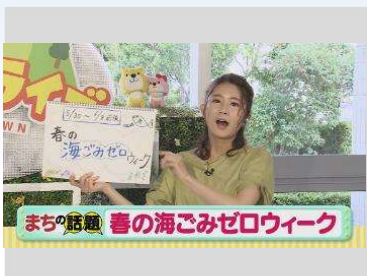
自然豊かな長野県松本市の湧き水を原料にした自然水を民間企業と連携。海洋ごみ削減を訴えるメッセージをラベルに掲載し開発・販売した。

その他：スポーツ連携企画、スポGOMI甲子園企画等を実施

メディア露出



5/17「ふるさとライブ」
ナガノコレクションイベント
長野県立美術館からも配信



6/7「ふるさとライブ」
春の海ごみゼロウィーク



6/30「ふるさとライブ」
海を願い松本の水が商品化



10/17「NBSライブニュースイット」
秋の諏訪湖一斉清掃
燃えるゴミ(117kg)、不燃物(49kg)など
合計286kgを回収

その他：TV13本 WEB45本 新聞3紙 掲載

2021年度の課題とこれからの展望

海なし県・長野において、「海洋ごみ」という言葉自体の認知度は高まっていると感じるが具体的なアクションにつなげる度数は高いとは言えない。そこで未来の海を担う若年層へのアプローチをさらに強化していく。オリジナル企画は引き続き美容業界と連携し、イベントだけでなく、その先の各美容室で海洋ごみ削減を啓発できる仕組みを整えたい。また拾い箱とスポーツ連携を掛け合わせた継続的な展開を実施。この他、小学生が海洋ごみをリアルに感じられる教育イベントも実施し、長野県が海とつながっていることで、海洋ごみが海に流れているということを学ばせたい。そして当プロジェクトのテーマである「上流県ながのから海をキレイ」にさらに推進していく。